



ともに、生きる。 江戸川区

第18号

集団回収



ニュース

令和5年11月17日～12月18日の間に700団体近くもの団体へ「集団回収の取り組み状況について」のアンケート調査を行いました。

今号ではお取りまとめた回答をご紹介します。今後の活動の参考になりましたら幸いです。

令和6年11月発行
編集・発行
環境部清掃課資源循環推進係
☎ 03-5662-1689



集団回収の宣伝をどのように行っていますか？



『掲示板』と『回覧板』を利用している。という回答が全体の7割を占めました。

また、広報車を用いての呼びかけを行ったり、中にはスマートフォンで簡単にやりとりできるコミュニケーションアプリ

『LINE』を活用していると答えてくださった団体もありました。集団回収を活発に行ういい作戦ですね！



集団回収の回収量は変化していますか？



全体的に量が『増えている』2割『減っている』4割、『変わらない・わからない』が4割という回答でした。

団体種類別だと町会・自治会で『減っている』、管理組合で『増えている』という回答を多く頂きました。

減っている原因では『1軒あたりの排出量が減った』が最多でした。

集団回収を知らない世帯が増えたことや町会や自治会に所属していない世帯が増えたこと、新聞の電子化や定期購読世帯の減少などが排出量の低下につながっているように思われます。

裏面へつづく





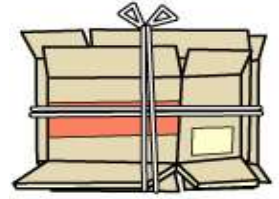
回収量が増えてきている品目は何ですか？



段ボールとアルミ缶が増えていると実感している団体が多いようです。

ネットショッピングの利用増加やおうち時間で飲料を飲む機会が増えたことが浸透し続けていると考えられます。

企業による新たな商品の発売や流通業界で主流な梱包資材の変化などによって影響が出てくることもあります。



課題と感じていることは何ですか？



上位2項目に①新聞購読者の減少により新聞回収量が減った。②高齢化により肉体的に大変である。また、担い手の不足を感じる。が寄せられました。

新聞の回収量については、今後も減少傾向が見込まれます。減少していく新聞量や、雑がみの分別・回収量をあげるなど他資源の増量に努めていきましょう。

集団回収は団体のコミュニティによって成り立っています。そのため多くの方々に知ってもらい、協力していただくことが大切になってきます。ポスター掲示やSNS活用などさまざまな方法を活用することによってより多くの資源の確保が期待できます。

江戸川区におきましても引き続き、集団回収の周知・活動支援に努めていきます。

江戸川区からの大切なおしらせ



区は集団回収で、集積所に出された資源を集めることを認めておりません。

直近の区への問い合わせで町会、自治会を名乗る者から無許可で立ち入り、アルミ缶などを回収していく行為を不法侵入等で警察に通報したという事例がございました。改めて適切な集団回収をお願いします。

年末年始は回収業者が休みに入るため、集団回収の日時について業者とご確認いただきますようお願いいたします。